

平成30年

片山定期能 七月公演

於 京都観世会館

平成30年7月29日(日) 午後12時30分開演(正午開場)

能 三井寺 — みいでり —

前シテ／千満丸の母 味方 玄 笛 森田保美
 後シテ／千満丸の母 味方 慧 小鼓 吉阪一郎
 子方／千満丸 福王知登 大鼓 山本哲也
 ワキ／三井寺の住僧 喜多雅人
 ワキツレ／從僧 中村宜成
 ワキツレ／從僧 小笠原 匡
 アイ／清水寺門前の者 小笠原弘晃
 アイ／三井寺の能力

(休憩 10分)

和泉流狂言 □ 真似 — くちまね —

シテ／主人 小笠原 匡
 アド／太郎冠者 小笠原弘晃
 アド／何某 山本豪一

仕舞 笹之段 — ひやくまん・ささのだん —

シテ／狂女百萬 橋本儀道

鶉之段 — うかい・うのだん —

シテ／鶉使いの老人 武田邦弘

雨之段 — うげつ・あめのだん —

シテ／里の老人 浦田保浩

玉之段 — あま・たまのだん —

シテ／海人の女 片山九郎右衛門

(休憩 10分)

能 須磨源氏 — すまげんじ —

前シテ／老人 片山伸吾 笛 竹市 学
 後シテ／光源氏の霊 小林 努 小鼓 成田達志
 ワキ／藤原興範 有松遼一 大鼓 石井保彦
 ワキツレ／從者 岡 充 太鼓 前川光範
 ワキツレ／從者 山本豪一
 アイ／所の者

4時30分頃終了予定

(No.68—3)

〔演目解説〕

能 三井寺

上演時間 約1時間30分

人買いに子供をさらわれた女が清水寺の観音に参ると、三井寺に行くようにとの夢の告を受け、喜んで近江へと向かう。

折しも頃は仲秋の名月の夜。三井寺では住職達が稚児を連れて、十五夜の月見をしている。長らくの物思いで狂女となった女は、能力の撞く鐘の音にひかれて鐘楼に近づき鐘を撞こうとするが、僧に止められる。すると女は、鐘にまつわる故事を述べて許しを求め、自ら鐘を撞いで戯れる。そして静まりかえる琵琶湖畔の景色を眺めつつ、さらにはいくつもの詩歌を引いて感懐を述べる。そのうち月見の席の稚児の頼みで、僧が女の国里を尋ねると、女は駿河国清見関の者と答える。こうして互いに親子であることがわかり、二人は再会を喜び、故郷へと帰っていくのだ。

狂女物の中でも『隅田川』と並び屈指の名作。鐘楼を模した作り物の存在や、随所に纏められた美しい情景を表す言葉と節付が、絶妙のコントラストを生んでいる。

狂言 □ 真似

上演時間 約15分

あるところから酒を賣った主人は、酒の相手を探してこいと太郎冠者に言いつける。冠者は、主人とは全く交際のない自分の知り合いを無理に連れて来る。主人が客を見ると、酒乱で有名な者であった。主人は無理に連れて来させた手前、穏やかに帰そうと思いい、冠者に自分の言う通りに振る舞うよう命ずる。ところが冠者は、主人の真似をすればよいと勘違いし……。

能 須磨源氏

上演時間 約1時間30分

日向国宮崎の神宮である藤原興範が、伊勢参宮の途中に須磨の浦に立ち寄ると、一人の老樵夫と出会う。興範は老人が光源氏の旧跡である若木の桜を眺めていたので、この所に縁の光源氏のことを尋ねる。すると老人は光源氏の生涯を語って聞かせ、我こそがその主人公の光源氏で、今は兜率天に住むと云って雲に隠れる。

興範は、今宵はこの地にて奇特を拜もうと旅寝していると、波の音に合わせて音楽が聞こえ、光源氏の霊が天を下る。源氏はたおやかに青鈍の狩衣を着て青海波の舞楽を舞う。そして罪業の多い衆生を助けたいと思い、再びここに天下ったことを告げ、明け初めた春の空へと姿を消すのであった。

本曲同様、『源氏物語』を題材にしたものに『源氏供養』があるが、これは作者の紫式部をシテとしたもので、両曲には明確な立場の違いと男女観が存在する。

〔後見〕
梅田嘉宏
片山九郎右衛門

〔地謡〕
河村浩太郎 田茂井廣道
河村和真 河村博重
宮本茂樹 青木道喜
橋本忠樹 分林道治

〔地謡〕
清沢一政
古橋正邦
橘 保向
味方 玄

〔後見〕
泉 慎也

〔地謡〕
河村和晃 分林道治
清沢一政 古橋正邦
梅田嘉宏 武田邦弘
橋本忠樹 河村博重

近日演能予定

7/17(火)	養老 水波之伝	片山九郎右衛門	御造営三十年記念大祭奉納 /天河大辨財天社
7/26(木)	自然居士	分林 道治	日前宮薪能 /日前神宮 国懸神宮
7/28(土)	[舞囃子]高砂 船弁慶	片山九郎右衛門 (後)橋本 忠樹	面白能楽館/京都観世会館
8/7(土)	[新作能]くるす桜	味方 玄	★薪能くるす桜/明建神社
8/17(金)	清経 恋之音取	片山九郎右衛門	☆杉信の会 /セルリアンタワー能楽堂
8/23(木)	翁	片山九郎右衛門	◆能楽チャリティ公演【第一部】 /ロームシアター京都 サウスホール
8/25(土)	羽衣 烏帽子折	青木 道喜 青木 道喜	◇安曇野能楽鑑賞会 /豊科公民館ホール
9/1(土)	井筒	味方 玄	大津市伝統芸能会館主催能楽公演 /大津市伝統芸能会館
9/2(日)	[復曲能]わたつみ	片山 伸吾	能にしたいむ会/京都観世会館
9/5(水)	乱 置壺	片山九郎右衛門	▼国立能楽堂開場35周年記念公演 /国立能楽堂
9/8(土)	山姥 白頭	古橋 正邦	京都観世会九月例会【其ノ一】 /京都観世会館
9/9(日)	杜若 恋之舞 野守 白頭	青木 道喜 片山九郎右衛門	▽名古屋片山能/名古屋能楽堂
9/22(土)	小袖曾我	武田 邦弘 武田 大志	上野城薪能 /伊賀上野城本丸広場
9/23(日)	雷電	橋本 忠樹	京都観世会九月例会【其ノ二】 /京都観世会館
9/24(休)	経正 融	味方 玄 味方 玄	■テアトル・ノウ京都公演 /東本願寺能舞台
9/29(土)	鶴	味方 玄	□安土城址 摠見寺コンサート /安土山 豊臣秀吉邸跡
9/30(日)	松風	分林 道治	初秋の能/京都観世会館

【お問合せ】

京都観世会館 075-771-6114
 大津市伝統芸能会館 077-527-5236
 天河大辨財天社 0747-63-0558
 日前神宮 国懸神宮 073-471-3730
 伊賀上野城 0595-21-3148

★古今伝授の里フィールドミュージアム 0575-88-3244
 ☆杉信太朗事務局 050-3488-1890
 ◆京都観世会館 075-771-6114
 ◇信州安曇野薪能実行委員会事務局 0263-71-2463
 ▼国立劇場チケットセンター 0570-07-9900
 ▽片山家能楽・京舞保存財団 075-551-6535
 ■テアトル・ノウ 075-213-1774
 □安土山保勝会 0748-46-6594

次回公演のご案内

片山定期能 9月公演

平成30年9月16日(日) 午後12時30分開演[正午開場]
 於・京都観世会館

野 宮 合掌留 河村 博重
 (狂言) 文 荷 茂山 忠三郎
 熊 坂 替之型 片山九郎右衛門

[入場料] 一般前売 3,500円 学 生 2,000円
 — 全席自由 — 一般当日 4,000円 回数券(5枚綴) 15,000円

※ 回数券は一度に複数枚ご利用して頂けます。

名古屋片山能

第18回 名古屋片山能

平成30年9月9日(日) 午後2時開演[午後1時開場]
 於・名古屋能楽堂

杜 若 恋之舞 青木 道喜
 野 守 白頭 片山九郎右衛門

[入場料] 一般(指定) 5,000円
 一般(自由) 4,000円
 学 生(自由) 2,000円

お問い合わせ 公益財団法人 片山家能楽・京舞保存財団

TEL.075-551-6535 FAX.075-532-2841

主 催 / 名古屋片山能制作委員会

後 援 / CBCテレビ・中日新聞社

制作協力 / 公益財団法人 片山家能楽・京舞保存財団

入場料 (全席自由)

一般前売 …………… 3,500円
 一般当日 …………… 4,000円
 学生 …………… 2,000円
 回数券(5枚綴り) …………… 15,000円

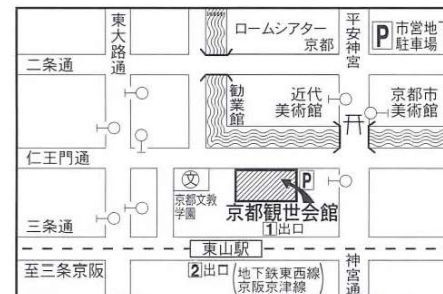
※一度に複数枚お使い頂けます。

取扱所 京都観世会館 075-771-6114
 9~17時 月曜休館
 片山定期能楽会事務局 075-551-6535
 10~17時 日曜定休

会場

京都観世会館 (京都市営地下鉄東西線東山駅下車・徒歩5分)
 〒606-8344 京都市左京区岡崎門勝寺町44
 Tel. 075-771-6114

※ 東隣に時間貸の駐車場がございます。(30分¥200)



お願い

- 出演者等の変更の場合は御了承下さい。
- 場内での、録音は固くお断り致します。
- また携帯電話、ポケットベル及び時計のアラーム等はあらかじめ電源をお切り下さい。



片山定期能楽会

〒605-0088 京都市東山区西之町224
 Tel. 075-551-6535 Fax. 075-532-2841
<http://www.ritsumei.ac.jp/kic/570/theater/k-kanzei/>